

↑車窓を流れるのがな田園風景。



春風に乗り出発進行
4月8日から運行開始

**「なののはな号」の違い
利用者は早くも実感**

**乗ってうれしい新型車両
さらに快適になった**

新学期が始まり、通勤通学客で賑わいを見せる駅のホーム。遠くから聞こえる遮断機の警報の音とともに、黄色い車両が静かに滑り込んできました。「あつ、ラッキー。あれ新しい列車やん」

学生の中からこんな声が聞こえました。色鮮やかな車体は見ていただけで心がわくわくします。ドアが開いてまず目に付いたのは床の低さ。今までと比べるとかなり低くなり、ベビーカーでも楽に入れるくらいの高さです。「乗りやすくなったね」「中の感じがいい」毎日通院で利用している

で乗り降りしやすい」「スライド式で乗り降りが楽になった」「車内が明るくなった」「揺れが少なく乗り心地がいい」「駅につく時キーツという音が鳴っていたのが静かになった」「新車に乗れて何だか得したみたい」と、たくさんの特長に気付いたみたいで、笑顔で語りかけてくれました。早くも好評を集める「なののはな号」でした。

↑かつては真っ黒い蒸気機関車が煙を吐きながら走った線路を、環境に優しいクリーンな「なののはな号」が走り抜ける。

↑かつては真っ黒い蒸気機関車が煙を吐きながら走った線路を、環境に優しいクリーンな「なののはな号」が走り抜ける。↑かつては真っ黒い蒸気機関車が煙を吐きながら走った線路を、環境に優しいクリーンな「なののはな号」が走り抜ける。↑かつては真っ黒い蒸気機関車が煙を吐きながら走った線路を、環境に優しいクリーンな「なののはな号」が走り抜ける。

**「ここが変わった」
なののはな号の特長**



へいちくキャラクター
「ちくまるくん」

「レールバス」の愛称で親しまれている現行車両は、軽量化と低コストがウリ。そして今回導入の「なののはな号」は、環境面と安全性に配慮しながらも耐用年数の向上、お客さまサービスとバリアフリーの向上に努めた、さらに頼もしい車両です。



現行車両100-200-300型

新型車両400型



↑出入口付近にある側面の行先表示器は、明るく見やすいLED式。



↑行き先表示も鮮やかなLED式表示、信頼性の高さと長寿命が特長。



↑お年寄りやベビーカーに優しい低床設計で乗り降りしやすい出入口。



↑鉄道方式の圧迫感の少ないスライドドアで、安全面の向上にも配慮。



↑天井も高く、広々として、明るく開放的な空間となった車内。



↑防音の効果を上げるために、側窓はすべて一枚ガラスの密閉式に。



↑自分の好きな位置で止めることができる「フリーストップカーテン」。



↑低排気ガスで環境に優しいエンジン。チューリップさんもニコリ。



↑すっきりとした色のシート、堅めのクッションで座り心地は二重丸。



↑エンジンのパワーアップで冷暖房も充実、車内はいつでも快適。



↑エンジンのパワーアップで冷暖房も充実、車内はいつでも快適。



↑運賃や次の行き先が一目でわかる電光掲示板も認識しやすいLED式。



↑車内設置のスロープにより、車いすでの乗り降りがとても快適に。



↑車内にある車いす専用スペースで安心・安全、固定フックも完備。



↑両替機のお金の取り出し口が高い位置になり、利用がとても楽。

※車いすでのご利用時には、前日より前にご連絡ください。スロープの設置など職員が対応します。 連絡先 平成筑豊鉄道 ☎ 22-1100